



【てづか けん さん】白樺 / 70 歳
●千歳文化財保護協会事務局長。平成10年に同協会に入会し、翌年から事務局長として、文化財の普及促進に力を注いでいる。

わがまちの文化財は私たちの誇りです

文化財保護協会では、市内の石碑・石像についての情報や会員を募集しています。詳しくは、手塚さん ☎(28)1673へ。

「私」と文化財の出会い、小学5年生のときにした遺跡掘り。学校の先生が本物の土器を掘り出したときのことは今でも忘れられません」と手塚さんは話します。

その後、社会人となり、忙しさなどもあつて長い間、文化財への想いを心の奥に閉じこめていた手塚さん。その秘めた想いに火をつけたのは、11年前に開かれた「千歳の古代展」でした。

この展示会で、ほかの地域にも誇れるような文化財が千歳にあることを知り、この地で文化財と関わり続けていきたいと、文化財保護協会に入会。現在は事務局長として活躍しています。協会では、今年、設立30周年を迎え、

つぎの世代に開拓や発展の歩みの記録を残そうと、市と協働で市内の石碑や石像の調査を始めます。

石碑などの状況は、昭和62年に市が調査してまとめています。それから20年あまりが過ぎ、記されている文字が読みにくくなるなど、当時とは状況が変化しています。協会では、今月から2年間かけて調査を行い、再来年にはまとめたいと、準備を進めています。

「石碑や石像には、千歳の開拓や発展

に努力した方の足跡や功績などが記されています。今の私たちの暮らしはこうした先人の苦労の上に成り立っています。これまでの発展の礎ともいえるこれらの記録は、千歳の貴重な文化遺産」と話します。

「つぎの時代にも残していけるようにできるだけ多くの情報を集めたい。また、1字ももらさずに正確な記録を残したい。そのため力になってくれる会員も増やしたい」と手塚さん。

「報告書をつくって終わりにはしたくない。ホームページで公開したり、石碑・石像めぐりツアーを開いたりして市民の皆さんに親しんでもらう取組をしていきたい」とつぎつぎとふくらむ夢を話してくれました。



市内に50か所以上ある石碑や石像を調査します(写真は青葉公園内の招魂碑)

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



KEN
TEZUKA

手塚

賢

さん